

日本物理学会第65回年次大会：誘電体分科インフォーマルミーティング（IM）議事録

日時：平成22年3月22日（月）17:15～18:00

場所：岡山大学津島キャンパス HS 会場

参加者：40名程度

【議題】

- 1) 次回シンポジウム等の企画
- 2) 次々期領域運営委員の選出
- 3) 領域副代表の選出
- 4) 若手奨励賞審査委員の選出
- 5) 領域10web係について
- 6) 学会の報告・案内
- 7) 連絡事項
- 8) その他

【協議事項】

- 1) 次回シンポジウム等の企画
 - ・2010年秋季大会（於：大阪府立大学）でのシンポジウム、招待講演についてメーリングリスト（ML）で募集。
 - ・現在までに寄せられた提案は、シンポジウム・招待講演・企画講演ともに0件である。
 - ・申込の〆切（4月30日）までにはまだ時間があるので、今後継続して提案を募集し、ML等で協議することを提案。⇒賛成多数で承認

参考）招待講演・特別講演、シンポジウム提案申請までの流れ

- ① シンポジウムの企画発案者は提案書（案）を世話人に提出する。
- ② 世話人関係者で提出された提案書（案）に対し意見を出し合う。
- ③ 参考意見をもとに、発案者が提案書（案）を手直し、世話人に再提出する。
- ④ 世話人は誘電体分科構成員（ML登録者）に対して、提案書（案）を電子メールで公開する。構成員は、提案書に対する各人の意見を世話人に提出するか、あるいは誘電体分科IMに向け準備する。
- ⑤ 提案書（案）についての実質的な審議はIMで行う。IMにて了解が得られた後、提案者は物理学会のホームページから提案申請を行う。

2) 次々期領域運営委員の選出

- ・次々期領域運営委員（任期：2010年10月～2011年9月）をMLにて募集。
- ・ML、及びIMでの推薦は無し。
- ・領域運営委員グループから大和田謙二先生（原子力機構）を推薦。⇒賛成多数で承認

3) 領域副代表の選出

- ・次期領域副代表（任期：2011年10月～2012年9月）をMLにて募集。
- ・上江洲由晃教授（早稲田大学）より伊藤満教授（東京工業大学応用セラミックス研究所）が推薦された。⇒賛成多数で承認

4) 若手奨励賞審査委員の選出

- ・次期若手奨励賞審査委員（任期：2010年10月～2012年9月）をMLにて募集。
 - ・ML、及びIMでの推薦は無し。
 - ・領域運営委員グループから上江洲由晃教授（早稲田大学）を推薦。⇒賛成多数で承認
- ※その後、上江洲由晃教授より任期中に早期退職予定の為、辞退とのご連絡。⇒再審議

5) 領域10web係について

- ・現在、筑波大学の狩野旬先生に実質上一任されている為、今後の領域10web係の今後のローテーションについて協議。
- ・(案) 今後、原則的に正・副の2名により運営し、管理者は領域代表及び副代表の分野より一名ずつ選出されるが、管理の継続性・活発性を維持する為正、管理者適任者が現れるまでは正管理者については狩野先生にお願いし、副管理者を領域代表の分野（領域代表が誘電体分科の場合は副代表の分野）より選出。任期は領域（副）代表の任期と同一とする。⇒継続的に領域運営委員グループにて協議。

6) 学会の報告・案内

- ・狩野旬先生（筑波大学）より2009年10月10日(土)～11日(日)に熱海研修センターにて開催されたフューチャー・フェロエレクトリックス～第1回・誘電体若手秋の学校～の報告、及び次回2010年8月7日(土)～8日(日)にヴィラ軽井沢にて開催予定の第2回・誘電体若手秋の学校の案内があった。
- ・谷口博基（東工大応セラ研）が2010年6月20日(日)～24日(木)に開催予定の第10回日露強誘電体会議の参加登録状況を報告した。
- ・黒岩芳弘教授（広島大学）より2010年8月3日(火)～6日(金)に開催予定の第8回日韓強誘電体会議の案内があった。
- ・その他、谷口博基（東工大応セラ研）がISAF-19、IMF-13の案内を行った。

7) 連絡事項

- ・領域運営委員の任期が“4月から翌年3月”と“10月から翌年9月”に変更。
- ・若手奨励賞選定に関する領域10選考要綱が以下のように改訂。
「原則として、若手奨励賞の年齢制限は40才未満とする。」
- ・若手奨励賞審査委員の奨励賞候補推薦に関して、“推薦権無し”から“推薦はできるが、審査時は退席する”となった。(但し、若手奨励賞審査委員は常識の範囲の“関係者”の推薦は出来ないとの注意が野田領域代表よりあった。)
- ・谷口博基(東工大応セラ研)がPTP/JPSJ統合の主なリスクとして、“雑誌の評価(IF)が途切れる”こと、及び“研究機関あるいは個人の購読が途切れる”ことを説明。2013年の円滑な統合に向けたアンケートが4~5月に実施される旨を案内した。

8) その他

特に無し

以上、文責・谷口博基(東工大応セラ研)。

2010年3月24日